

芦田 八郎さんのプロフィール 認定No.15

(福知山観光ガイドの会 副会長)

私が初めて芦田さんにお会いしたのは、2019年7月18日。明智光秀公が念願の、大河ドラマの主人公に決まり、福知山観光ガイドの会の皆さんが丹波亀山城跡（亀岡市）を見学に来られた時でした。その時は名刺交換し一言二言ことばを交わした程度でしたが、何となくその笑顔とお人柄が気になっていました。それから一年。思い切って連絡を取ってみたところ、快くインタビューに応じてくださり、市内のガイドもしていただきました。思った通りの、熱い人（笑）！光秀公や福知山郷土愛は半端ないです！

そもそも歴史や地元の事に興味をもったのは、高校の時の歴史の先生の話が面白かったから。大手商社に営業職として就職するも、サラリーマン生活のうち、ナント23年間も単身赴任生活。余暇を利用して、その各地を積極的に巡ったという。また、芦田家のルーツは、地元の福知山市六人部にあった打越城主、大槻阿多之助の末裔であることは子供の時から耳にしていたとのことで、光秀を苦しめた「丹波の赤鬼」黒井城主、荻野直正と同じ一族だったことがわかり、俄然「光秀が築いた城下町、福知山」を深掘りしようと、丹波福知山明智光秀公研究会や福知山史談会に入会。さらに、福知山観光ガイドの会にも参加し、調べたことを自分のことばで伝えるガイドを心掛けているとのこと。当ガイドの会もご多分に漏れず高齢化が進み、会の存続発展を目指して副会長として色々なチャレンジをされている最中ようです。

インタビューの最後に、定番の「本能寺の変」の動機を尋ねました。明快な答えが！それは、私が企んでいる、ある方との対談イベントで、披露してもらうこととしましょう！



2020.7.2 松尾 清嗣